

令和8年9月3日

受験者の皆様へ

神戸大学大学院農学研究科長

白 井 康 仁

博士課程前期課程一般選抜入学試験における出題の誤りについて

令和8年8月18日（火）・19日（水）に実施した令和9年度博士課程前期課程一般選抜入学試験におきまして、資源生命科学専攻応用動物学講座の筆記試験「生殖生物学・発生工学」及び生命機能科学専攻応用生命化学講座の筆記試験「共通科目」に以下の誤りがあることが判明しました。

当該問題の受験者は、誤りのあった設問を全員正解とします。なお、合否判定において、この措置による選択科目間の不利益は生じていないことを申し添えます。

今後は、さらにチェック体制を強化することにより改善を図り、出題誤りの発生を防ぎます。

受験者ならびに関係の皆様にご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。

【出題誤りの内容】

●資源生命科学専攻応用動物学講座 生殖生物学・発生工学

・問題文抜粋

大問Ⅲ 問4 以下のヒトの細胞に含まれる性染色体の種類と数を答えなさい。ただし、染色体の数は、DNA複製によりできる染色分体もそれぞれ1本として数える(姉妹染色分体は2本として数える)ものとする。なお、解答が複数ある場合は、そのすべてを答えること。複数の解答がある場合の解答例:X染色体2本,あるいは,X染色体1本とY染色体1本。

(a)第二極体放出直後の受精卵, (b)G2期の精細胞, (c)第一極体, (d)一次精母細胞, (e)G1期の卵原細胞。

・誤りの内容

(b)「G2期の精細胞」の性染色体の種類と数を問う問題を出題したが、精細胞は細胞周期を停止しておりG2期が存在しないことから正答を導けない。

●生命機能科学専攻応用生命化学講座 共通科目

・問題文抜粋

大問V 問2 炭酸デヒドラターゼによるCO₂の水和反応は、以下のミカエリス-メンテンの式で表される。

$$v = \frac{V_{\max} [S]_0}{K_m + [S]_0}$$

ここで v は反応速度、 $V_{\max}$ は最大速度、 K_m はミカエリス定数、 $[S]_0$ は基質のモル濃度である。ある炭酸デヒドラターゼについて、酵素のモル濃度 $[E]_0$ を 1.0×10^{-8} (mol/L)としたとき、 $V_{\max}$ の値は 8.0×10^{-4} (mol/L/s)であった。

- (1) この酵素反応の触媒定数 k_{cat} (1/s)を求めなさい。
- (2) この酵素の K_m 値を 1.0×10^{-2} (mol/L)として、CO₂濃度が 1.0×10^{-3} (mol/L)のときの初速度 v (mol/L/s)を求めなさい。

・誤りの内容

出題原稿ではミカエリス定数 K_m を 1.0×10^{-2} (mol/L)、基質(CO₂)濃度を 1.0×10^{-3} (mol/L)として出題していたが、当日の試験問題では「-」が印字されておらず、ミカエリス定数 K_m が 1.0×10^{-2} (mol/L)、基質(CO₂)濃度が 1.0×10^{-3} (mol/L)となっていた。